

学校名 [ 加茂中学校 ]

氏名 [ 松本 敏秀 ]

[ 中 ] 学校 [ ] 年版

単元名 [ 自分の身は自分で守る ] P40 ~ 41

教科・領域名 [ 学級活動 ] [ 時間 50分 ]

主な学習活動 (実際に行った活動)

指導の実際

【ねらい】

自分の命は自分で守るとのこと (自助) について、実践的活動を通して理解する。

1 東日本大震災の経験について話し合う。

3.11.のとき、どこで何をしていましたか。

2 学校で被災した場合について考える。

今この場で強い揺れを感じたら、まずどうしたらいいですか。

「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所を判断し、そこに身を寄せることが原則と知る。

3 日常に潜む危険を探す。

P.40①～④の写真の場面で、どんな危険が潜んでいるでしょう。

4 家で被災した場合について考える。

リビングで強い揺れを感じたら、まずどうしたらいいですか。

・ソファとテーブルの間のすき間に隠れ、クッションで頭を保護する。

台所で強い揺れを感じたら、まずどうしたらいいですか。

・お湯をかぶる、包丁が飛ぶ、割れた食器でけが、開いた引き出しで身動きがとれないなど、台所は危険なので近づかない。

寝室で強い揺れを感じたら、まずどうしたらいいですか。

・ベッドから降りて布団をかぶる。枕で頭を保護する。

5 授業を振り返る。

避難訓練は授業中を想定しているが、大地震は今まで授業中には起きていない。



○不安や課題がある場合は、無理に振り返らせない。

○第一次避難姿勢は、机の下に隠れる。その理由も考えさせる。

○適切な行動を考えさせる。

・火、なべ、蛍光灯、包丁、自動販売機、瓦、電線、車、塀、看板、窓ガラスなど

○机がないときはどうすべきか考えさせる。

・頭と目を守る

○大きな家具が転倒してきたときのことなど考えさせる。

○「まず火を消す」は間違いである。ガスや電気は自動で止まる場合が多い。復旧時危険なので、揺れが治ったら OFF にする。

○日頃から、頭より高い位置に物を置かないことが大事。写真では壁面の額が危険。

○危険を予測すること、適切な行動と対策を確認しておくことが必要。

# 自分の身は自分で守る

組 番 氏名

1 授業中に強い揺れを感じた。

--

2 日常に潜む危険を探そう。

①	②
③	④

3 リビングに机がないぞ！



--

4 台所で火を使っている！



--

5 人生の1／3は寝室で過ごす。



--

6 授業を終えて

--